

グループA

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

*本人がどのような生活と望んでいるのか？

- ・
- * 近隣の住人との関わりが無く、地域で孤立している。
- ・ 民生委員とのつながりをもつ。
- ・ 自治会での見守り、はんちゆうさんにつなぐていく。
- ・ 包括支援センターの相談協力員につなぐ。

* 緊急連絡先は？ 誰が緊急時に対応するのか？

家族がいない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

・ 高齢者保証協会の利用

・ 成年後見制度の利用
(市長申立て)

本人同意が無かった場合は市長同意の入院も検討

入院時

・ アドバンスケアプランニングで、関係者どうしが
事前に話し合~~い~~い、共有しておく、していく
ことが必要ではないか！

グループB

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

①. 聴覚障がいの団体と連携をとっていく。

- 聞く事も大事だが、雰囲気暗くお話し、希望を引出していく。
本人とコミュニケーション取り、思いを引出す支援。

② 民生員や相談協力員に訪問してもらう
地域の活動(サ-クル等)の案内

③. 訪看と警察署からの見守り(緊急時の対応)

おにかけつける事が出来るよう、鍵を共有出来るようにする

家族がいない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

・ 家族いない → 医療保護入院 断りやすい
指名の権限

X所の年親と 入院の年親 → 本人が理解してたら
代筆可能。
同意はOK

精神科医療保護入院
病院で 年親の同意書 意思表示がでなければ
サインは出来ない。

流しては入院は出来ないが、その後は.....

行政の立場で 依頼出来る。

本人の同意が得られない場合は 判事委員会に話す
身寄りがいない場合

委任状 → 代筆にサインする人は本人がいないと出来ない
高齢者支援協会
保証

補足

・ 後見人制度を認めておく

・ 委任状 (認めておく)

本人の信頼している人、高齢支援センター協会

グループC

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

家族がいない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

★ 本人がどの様な生活を望んでいるか

- 支援に入る前の汚い生活(戻したくない)
- 本人がどこまで意思表示できるのか
- GHなど施設入居のワークショップも必要だったのでは...
↳ マセメントしてはかして、本人の24時間の現状を把握する

★ 近隣の住人との関わりが無く孤立している

- 本人が近隣とつながりたいて思っているのかは.....
- 今まで何が原因でトラブルになったのか.....(引っ越し前)
↳ 関係修復が必要
- 私達若くして引越しては孤立しやすいよね.....
- 重度認知症であれば環境の変化は、困らなくても.....

★ 緊急連絡

- 本人とのコミュニケーションをどうとるか考えては必要あり
- ボタン式の通報システムならたいていおぼつかも
- 引っ越し前の緊急連絡体制はどうしていたのか.....

• 入院手続き (保険証はどは渡す)

• 署名と印 → やらせる (代行はダメ)

• 病院側に考えてもらいたい

• 病院側の課題
書類が必要なのは、病院

• 押し付け合わず、つながる (HP ↔ CM)

• 医療は新しい (本人が望んでいるならはあ)

• 保証人 → 必ず必要
↳ 役割、意味、て何? (拘束時の許可... 支払い...)

• 何アズネがごせ... になっている.....

• 2week 限定であれば特示で訪問診療の支援
時間あり

グループD

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

- ☆ 本人がどのような生活望んでいる
- ☆ 近隣の住人との関わりがなく、地域で孤立
- ☆ 緊急連絡先は？ 誰が対応するのか？
 - 地域の人たちと関わりをもてれば良いのでは？
 - 一人で買い物ができる環境
 - ろうあ者の支援施設はないのか？
 - ↳ 仲間たちと出会えるのでは。
 - ケアマネ

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

- 医療同意はしない
成年後見人を立てる
その期間は多職種間で連携してフォローしていく。
 - 手話通約の程度の不安がある中で
ちゃんと通じているのか、不利益が生じないようには。
多職種が関わって確認して決めていくことが必要では。
 - NPO（住宅の手続き）への依頼
 - 弁護士を介入してもらう。（法的な交力かなど）
- 代筆等はするが、本人の同意及び多職種で連携して決定

グループE

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

※ ふれあいサービスの利用

※ 自治会・民生委員の活用

※ 行政・各種・ケアマネと連携して緊急時に
対応が出来るようにする

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

~~本~~ ・ 後見人の利用

(早めに利用するよう支援者が促す)

・ 対応した事のある病院等の
人
このようなケースの 対応策を確認する。

① 本人の意識ありの代筆

② 〃 なし → 前例のある病院等に
依頼

③ 事前の準備: → 後見人制度、
病院のピックアップ

グループF

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

本人が「孤」を望んで「は」るか。
生活
 ・本人の「間」とり、時間とかが。
 筆談
 や
 手話通訳者など
 ex. 3DにC後の環境の変化、
 とれで困ると「ことと
 ... 「たど」に「てか」振下げて「く」。
 ・今まで開クソのあったサービス事業者「たど」か
 情報を収集して。
 友人は、本人の存在を「と」思「て」はるか、
 友人の「レ」+「Y」は？
 ・近隣とのつながりがな孤立
 ・代々合「た」も「と」た「と」に「と」に新しく作り出すのは難しい。
 → 民生委員が「た」は？ 関わりを増や可能な人数から、かつ時間も「と」ず。
 ・市営住宅の自治会も「た」も。
 ・緊急連絡先は？
 ・高齢者支援協会の利用は？
 → 手紙以上の follow up は期待できず。
 → 在任、ケアマネや宅居の連携 → 交代した場合には
 新しい follow up の「た」が「た」はるか？

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

⇒ 精神科入院
 ↳ 入院中の他HP受診 (事例では、ケアマネやヘルパーが「手話通訳者に同行して受診した」...)
 受診の「た」も「た」も。
 ・書面の「サイズ」を大きくしたり、
 わかりやすく「た」に「た」て説明したりと。
 ・対応者自身が「責任」を持って「た」(と「た」立場で「た」) 場合には
 思「て」た「た」も「た」ま「た」。
 → と「た」も、他の職員に「た」た「た」こと「た」はるか。
 ※ 代筆は...?
 急性期HPの場合には保証人等「た」待「た」余裕も「た」た「た」
 精神科(任意入院)の場合には... ケアマネに代筆を依頼することも
 実際には「た」た。
 後見人(保補佐人)
 ・本人の判断能力を基準として、入院・入居施設の場合は「た」た「た」前に
 解決して「た」はるか (早急に動「た」て「た」引「た」継「た」はるか) 「た」た「た」は
 有料老人ホーム側が「た」代筆「た」引「た」受けたり
 ↳ 居宅ケアマネとの動「た」の親子「た」が重要。
 ↳ と「た」が「た」ケアマネの「た」を「た」解決「た」たり
 他のケアマネの「た」を「た」疎「た」す「た」こと「た」に
 → 「た」が「た」はるか「た」に「た」配慮を。
 生活保護
 受給中「た」はるか...

グループ G

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

警察から遺体
etc
しめてみる
→ 包括的

○ 身寄りのない時 警察は、見当り連絡してくるから困り
たいし、夜中によばれるなど、職員が疲れる
(休みの日)

○ 病院の救急も運ばれて来ると、ことわらぬ
運ばれず前の決まってる欲しい。
情報も欲しい。 毎々から、身内から表して
汗をかいたら、責任とれる

倫理委員会
話し合う

○ コミュニティは増えている
法的なところを含めて、整備が必要
CM 離職に怒っている。

市長同意、で治療あり。

グループH

☆グループディスカッション

『身寄りのない方の支援時の連携について・・・』

課題に対してどのような支援が考えられますか？

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

Y (♂) 83. (91F) 159cm / 62kg 介2.

幻視、寝不足
脱水、便秘

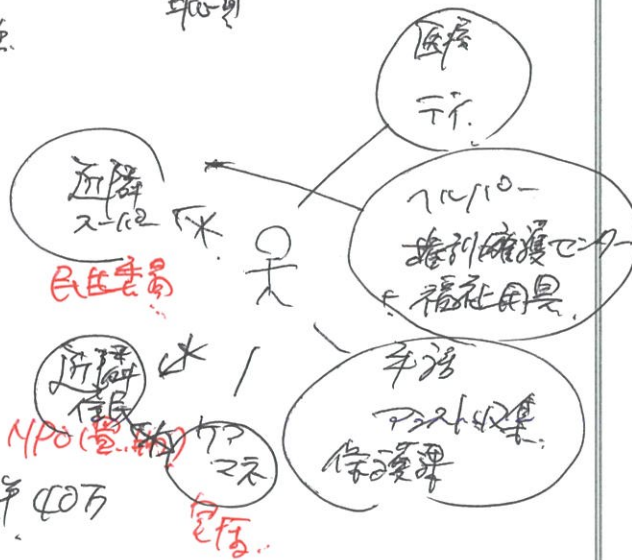
A2

小脳2/3欠、視覚障害
聴覚

Ib.

認知症、生活困難

健康面 受診
服薬
食生活



衛生 コミ、
水筒

金銭 現金持金年40万
管理十分

427 家賃可引のこ. 市営住宅 申請. 抽選参加
契約. 住民変更.

1110-同行.

買物 外出. (外出) 車
来訪者 外出. フラット.

- ① どのような生活を目指したいか → 24時間24時間
- ② 地域住民からの孤立 → OIEN. 外出した.
- ③ 緊急時の対応 → E11時未解決.

緊急時の対応.

- ① 成年後見人制度. 契約等.
- ② 緊急通報システム. 聴覚
- ③ E11
- ④ 来訪者 フラットホームボックス
- ⑤ 安否確認 自治会表.
- ⑥ 役割分担 (担当者会議). 各担当者内役.

✓ コミ=4-20G等 24時間生活可能なか??
方法. (17-24時間管理の上で) 自主的.

✓ 1110-同行. 認知症.

管理人等 意向確認の上で
認知症の対応 福利手帳
聴覚 聴覚
医療連携 手帳
同意書

グループ I

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

- ① 本人がどのような生活を送っているのか、
車居後の不安がある → 本人の気持ちを確認

付帯制度？
後見
権利の保護

- ② 近隣の住民との関わりが無く地域で孤立している
道に道を通っている。= 集団に通って通っている

手話通訳
民生委員

- ③ 緊急連絡先は？誰？

- ・ 本人が SOS を出せるのか？
- ・ エイメール登録

高齢者支援協会

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

- ・ 承認 責任が重くは — 押し回が多い

- ・ 基本的に「やらひ」

(代筆) = やらひ (関子干ひ) 全員で署名
責任が個人に負わせる必要はなし

- ・ ~~判断~~ 判断

- ・ 本人の責任能力を評価する 自己責任能力の評価
意志が現れているかどうか、— 代筆のありうなか
客観的 - 後見制度の利用

民生委員、社会福祉協議会の支援

権利の保護のしるし —

- ・ 本人の道徳
学ぶ能力、生活環境

本人の判断が適当かどうか

グループJ

☆グループディスカッション

課題に対してどのような支援が考えられますか？

- ① 近隣の住人との関わりが無く、地域と孤立している。
- ・団地内の方に協力を得て、見守りしてあげる
- ・民生委員児童委員に見守りをお願いする
- ・団地の役員、会の主催者に声をかけて活動参加を促してあげる。
(バー活動)
- ・食生活のサポートをしていくのは大丈夫。
- ・障害者施設へ
- ・手話通訳 へ
コミュニケーション手段を得る → 安心感が得られるから。
- ・本人の嫌がることは無理強いしてはいない

家族がない時、手続き等を依頼されたらどうしますか？

- ・成年後見制度 → 金銭の世話
浪浪の方言、情報を得る
本人
わかる。
- 介保 → YP2社にお願い、包括への相談
- ・本人にどこまでいかに能力があるか → 任意入院であれば本人の
行政への相談 確認、代筆
- ・関わりしている人が、最終的な判断。
- ・介護保険に属する場合は、YP2社。
- ・金銭的な問題は、生保であれば行政へ。
- ・病院の場合は難しい。 { 緊急時の判断が難しい。
生命に関わることはその範囲が広い。
- ・緊急時の成年後見の手段などは、とらえがちなこと望ましい。
しかし、成年後見制度は金銭的な対応が主となり、
医療の判断が難しい。